



令和3年7月8日
経済局産業連携推進課
(公財)木原記念横浜生命科学振興財団



2021年度 LIP. 横浜トライアル助成金 一次募集の交付対象事業(17事業)が決定

～デジタルヘルス等の研究開発を支援します～

「LIP. 横浜トライアル助成金」は、健康・医療分野において、新製品や新技術の事業化を目指し、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発などに活用いただける助成金です。

この度、デジタルヘルスをはじめとした、中小企業、大学・医療機関等が取り組む事業を支援するため、17事業（交付予定額1,656万円）を一次募集の交付対象事業として決定しました。

今後、LIP. 横浜の会員などとのマッチングや販路開拓により、中小企業の支援を積極的に進め、イノベーション都市・横浜の実現につなげてまいります。

(※) 本事業は、(公財)木原記念横浜生命科学振興財団が横浜市経済局の補助金を受けて運営する事業です。

【交付対象事業】

■デジタルヘルスに関連した事業（4事業）

事業名	高分子ナノ薄膜技術を活用した身体装着型デバイスの開発				
事業内容	日常的に心身の健康状態を維持・管理するために、装着時の違和感や皮膚障害を起さず、長期間・連続的な活動リズムを計測可能なウェアラブルデバイスを開発する。				
申請者	f-Tech 株式会社（中区）	共同研究先	東京工業大学	交付予定額	90万円
事業名	拡張知能（AI）を活用した効率的な遺伝性腫瘍診療システムの開発と実証				
事業内容	より多くの人々に遺伝性腫瘍の診断を提供するため、遺伝や遺伝性疾患に関するカウンセリングの一部を担う「AI 遺伝カウンセラー」を開発する。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 がん予防・情報学部 成松 宏人 部長	共同研究先	(株)AIT	交付予定額	100万円
事業名	乳児股関節健診における単純X線画像のDeep Learning 診断補助技術の開発				
事業内容	乳児先天性股関節脱臼の診断遅延例を減少させるため、単純X線検査の画像から精査が必要な事例を高精度で認識できるDeep Learning 技術を開発する。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 整形外科 大庭 真俊 医師	共同研究先	—	交付予定額	66万円
事業名	表情画像と音声情報のAI分析による心不全増悪予測モデルの開発				
事業内容	心不全患者の再入院を防ぐため、治療による患者の表情や音声の変化をデジタルデータとして活用することで、心不全増悪のAI予測モデルを構築する。				
申請者	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 心臓血管センター内科 岡田 興造 講師	共同研究先	(株)SensAI PST(株)	交付予定額	100万円

裏面あり

■中小企業が取り組む事業（3事業）

事業名	糖鎖変化を利用した尿診断キットの開発			
事業内容	尿中のタンパク質に結合している糖鎖は疾患により構造が変化することから、腎機能低下の有無を非侵襲的に判定する診断薬の開発を目指し、腎症特異的に糖鎖構造が変化したタンパク質を特定する。			
申請者	株式会社グライコテクニカ（青葉区）	共同研究先	—	交付予定額 100万円
事業名	在宅で排尿速度と量を測定し、尿漏れ、夜間頻尿、尿閉を早期発見する排尿日誌の可視化			
事業内容	高齢者の転倒を防ぎ、正確に尿流量を計測できるように、便座据え置き型尿流量計を製作する。また、3日間の排尿データを自動記録することで排尿障害、畜尿障害を早期発見するソフトウェアを開発する。			
申請者	株式会社ゼオシステム（神奈川区）	共同研究先	—	交付予定額 100万円
事業名	顕微鏡用XYステージ・カメラ連携システムの開発			
事業内容	医薬品開発過程で行う細胞培養実験において、観察しているウェルプレートの穴の位置を容易かつ正確に把握するため、光学顕微鏡用XYステージとカメラの連携システムを開発する。			
申請者	ピンポイントフォトンクス株式会社（保土ケ谷区）	共同研究先	—	交付予定額 100万円

■大学や医療機関等が取り組む事業（10事業）

事業名	ハイパースペクトルを利用した非染色イメージング技術の開発			
事業内容	病理学的な組織検査の新たな手法として、染色することなく生体組織を可視化する情報科学的手法を確立するための実証として、可視域透過光を用いて無染色脳標本から脳地図を作成する。			
申請者	慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科 岡 浩太郎 教授	共同研究先	—	交付予定額 100万円
事業名	糖脂質の糖鎖構造を解析するレクチン単離技術の開発			
事業内容	脂質に結合している糖鎖は細胞認識の標識に必要であり、感染症やがんなどの疾患と密接に関連していることから、糖鎖構造情報の解明を行うため、糖鎖を検出するレクチンの探索と評価方法の開発を行う。			
申請者	公立大学法人横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 大関 泰裕 教授	共同研究先	(株)グライコ テクニカ	交付予定額 100万円
事業名	中分子ペプチド医薬デジタル放出デバイスの開発			
事業内容	アミノ酸が連なったペプチドは中分子の医薬品として期待されており、ペプチドの血中濃度を維持するため、光応答性中分子ペプチド医薬と埋め込み型発光デバイスを組み合わせ、デジタル制御可能な中分子ペプチド医薬放出システムを創製する。			
申請者	国立大学法人東京工業大学 生命理工学院 門之園 哲哉 テニユアトラック助教	共同研究先	—	交付予定額 100万円
事業名	抗インフルエンザウイルス活性ペプチド ウルミンとヘマグルチニンの相互作用の解明			
事業内容	インフルエンザウイルスの新規阻害薬を開発するため、インフルエンザウイルスの増殖を阻害する天然のペプチド「ウルミン」とウイルスに存在するタンパク質との相互作用を解明する。			
申請者	国立大学法人横浜国立大学大学院 工学研究院 機能の創生部門 川村 出 准教授	共同研究先	—	交付予定額 100万円

事業名	患者由来オルガノイドを用いた2型子宮体癌の有効治療薬探索				
事業内容	難治性子宮体癌に有効な治療薬の探索および開発のため、患者から摘出したがん組織を使った患者由来のオルガノイド（三次元的に試験管内で作られたミニ臓器）を樹立し、薬剤感受性試験を行う。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 分子病態学部 太田 幸秀 氏	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	口唇口蓋裂に対する新しい鼻形態矯正装置の開発				
事業内容	口唇口蓋裂患児の先天的に変形している外鼻形態を改善するために、出生直後に家庭で取り扱うことができる簡便な鼻矯正装置の開発を行う。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 形成外科 小林 眞司 部長	共同研究先	(株)高山医療 機械製作所	交付予定額	100 万円
事業名	血液がんにおける造血幹細胞移植の迅速・絶対定量キメリズム解析系の構築				
事業内容	血液がんの治療において、造血幹細胞移植後にドナー由来の細胞の正着をリアルタイムで確認するため、治療の指標となるドナー由来とレシピエント（患者）由来の細胞の割合（キメリズム）を迅速に絶対定量できる解析系の構築を行う。				
申請者	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 臨床研究所 成戸 卓也 主任研究員	共同研究先	—	交付予定額	100 万円
事業名	BRD4 を標的とした COVID-19 治療薬のための構造基盤研究				
事業内容	COVID-19 治療薬の開発を目指し、新型コロナウイルスの膜蛋白質と結合する BRD4 ET ドメインについて構造学的な解析を行うことで、BRD4 ET ドメインの働きを阻害する化合物を開発し、急性呼吸窮迫症候群モデルマウスを用いて活性評価を行う。				
申請者	公立大学法人横浜市立大学大学院 生命医学研究所 小沼 剛 助教	共同研究先	横浜市立大学 (医学部)	交付予定額	100 万円
事業名	傷痕治療改革～最適なケロイド・肥厚性瘢痕治療方法の確立～				
事業内容	医療機関や診療科により診断や治療の格差が大きい傷痕の治療方法を統一し最適化するため、傷痕の定量化と機械学習を通じた臨床経過予測を行い、傷痕診断治療システムの構築を目指す。				
申請者	横浜市立大学附属 市民総合医療センター 形成外科 鍵本 慎太郎 助教	共同研究先	(株) SensAI	交付予定額	100 万円
事業名	分子標的アプローチによるグリオーマ関連てんかんの制御				
事業内容	難治性脳腫瘍であるグリオーマに関連するてんかんを制御する治療法開発のため、グリオーマにおける遺伝子変異を標的にする阻害薬の効果を検証する。				
申請者	横浜市立大学附属病院 脳神経外科 立石 健祐 診療講師	共同研究先	第一三共(株)	交付予定額	100 万円

※ 事業名は申請書の内容に基づいて掲載しています。共同研究先は見込みも含まれます。また、正式名称は一部省略しています。
 ※ カテゴリごとの掲載順については、申請者名の五十音順としています。

お問合せ先	
(LIP. 横浜に関すること) 経済局 産業連携推進課長 近藤 陽介	TEL : 045-671-2574
(助成事業に関すること) 公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局長 岩船 広	TEL : 045-502-4810

※本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております。

裏面あり

デジタルヘルスケアサポート拠点

デジタルヘルスケア分野での新技術・新製品の開発を支援する拠点を令和3年4月1日に開設しました。この拠点では、IoT分野のI・TOP横浜と健康・医療分野のLIP.横浜の2つのプラットフォームのネットワークを活用して、横浜企業経営支援財団、木原記念横浜生命科学振興財団、横浜市が、スタートアップや中小企業の製品化に向けた支援や新たなビジネス創出の支援を行います。

■場所

横浜市中区尾上町1-6 ICON 関内 YOXO BOX OFFICE08

■利用対象者

デジタルヘルスケア分野に関連する新技術や新製品の開発を目指すスタートアップ、中小企業、大学・研究機関など

■主な支援内容

- ・相談対応・伴走支援、マッチング支援、展示会出展などの販路開拓支援
- ・論文や調査レポートなどの閲覧
- ・デジタルヘルスケア分野を含むヘルスケア分野参入セミナーなどのイベント開催

■利用方法

- ・利用は無料です。お問合せ先にメールにて事前に予約してください。

■お問合せ先

横浜市経済局産業連携推進課ヘルスケアビジネス担当
ke-healthcare@city.yokohama.jp

※支援内容や利用方法、お問い合わせ先については、順次、アップデートしていく予定です。



イノベーション都市・横浜

横浜市は、平成31年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。「ヨコハマ・クロスオーバー（YOXO）」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のスタートアップなど、市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。また、I・TOP横浜とLIP.横浜の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進しています。

